

作成日:2011年4月26日

改訂日:2016年3月23日

安全データシート

【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名 シーラーKC
会社名 二瀬窯業株式会社
住所 〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
担当部署 技術部技術課
電話番号 0948-22-0447

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類
物理化学的危険性 引火性液体 区分外
その他の危険有害性の項目については、「分類できない」か「分類対象外」のいずれか。

GHS ラベル要素
絵表示又はシンボル 該当なし
注意喚起後 該当なし
危険有害性情報 該当なし

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名または一般名 アクリル樹脂エマルジョン
濃度または濃度範囲

成分	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	濃度又は濃度範囲
アクリル樹脂	非公開	非公開	非公開 (既存)	49~51%
水	H ₂ O	7732-18-5	—	49~51%

【4. 応急措置】

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の診断／手当を受ける。

皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ／取り除く。皮膚を流水／シャワーで洗う。

目に入った場合 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、医師の診断／手当を受ける。

飲み込んだ場合 口をすすぐ。直ちに医師の診断／手当を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状 不快感、頭痛、全身倦怠感を示す。

応急措置をする者の保護 汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れないよう手袋等の適切な保護具を使用する。

その他の医学的アドバイスまたは治療 特になし

【5. 火災時の措置】

適した消化剤 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消化薬剤、二酸化炭素消化薬剤、砂、霧状水

使ってはならない消化剤 特になし

特有の危険有害性 火災によって、刺激性、有毒ガスが発生する恐れがある。

特有の消火方法 初期の火災には、粉末、二酸化炭素などを用いる。大規模火災の際には、水溶性液体用泡消火薬剤などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は、すみやかに安全な場所に移す。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消化を行なう者の保護 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。こぼれた場所は

環境に対する注意事項	すべりやすいために注意する。多量の場合、人を安全に待避させる。漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
二次災害防止策	少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。河川等に流入した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。
【7. 取扱いおよび保管上の注意】	
取扱い	
技術的対策	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用する。
局所排気・全体排気 注意事項	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。スプレーミストや蒸気が発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、またはフィルター付きの保護マスクを着用する。取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。
衛生対策	取扱い後は、石鹸で手を洗う。
保管	
安全な保管条件	凍結、直射日光を避け、換気の良い屋内に保管し、保管時の温度が5℃以下及び40℃以上にならないようにする。使用後は、皮張り、腐敗防止のために、密栓(または密閉)して速やかに使用する。
安全な容器包装材料	消防法及び国連危険物輸送に関する勧告で規定されている容器を使用する。
【8. 暴露防止及び保護措置】	
製品の管理濃度、許容濃度	
管理濃度	設定されていない
許容濃度	設定されていない
アクリル樹脂の管理濃度、許容濃度	
管理濃度	設定されていない
許容濃度	設定されていない
日本産業衛生学会 ACGIH	設定されていない 設定されていない
設備対策	取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、眼の洗浄や身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	防塵マスク、簡易防塵マスク、防毒マスク(有機ガス用等)
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴、保護前掛け
【9. 物理的及び化学的性質】	
形状の補足事項	合成樹脂エマルジョン
色	乳白色
臭い	微臭
pH	6.0~8.0 (pH メーター)
融点/凝固点	0℃(水)
沸点、初留点と沸騰範囲	100℃(水)
引火点	>100℃
爆発範囲(上限、下限)(g/m ³)	データなし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度(20℃)	データなし
比重	1.0~1.1 (23℃)
溶解性	水で希釈可能
オクタノール/水分配係数	データなし

自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	500～3000 mPa・s (23°C、BH型、10rpm)
【10. 安定性及び反応性】	
化学的安定性	密閉状態で、冷暗所では安定
危険有害反応可能性	知見なし
避けるべき条件	5°C以下の低温、及び40°C以上高温
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし
【11. 有害性情報】	
製品の有害性情報	
混合物の有害性情報	全ての項目に情報なし
アクリル樹脂の有害性情報	
有害性情報	全ての項目に情報なし
【12. 環境影響情報】	
製品の有害性情報	
混合物の有害性情報	全ての項目について情報なし
他の有害影響	河川等に流入した場合、エマルジョン中の樹脂の粘着性の影響で呼吸困難が生じ魚類が死亡する可能性がある。
アクリル樹脂の有害性情報	
環境影響情報	全ての項目について情報なし
【13. 廃棄上の注意】	
残余廃棄物	焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
【14. 輸送上の注意】	
国際規則	
国連番号	該当なし
その他の情報	
緊急時応急措置指針番号	171に準じた取り扱いを推奨する。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。移送時にイエローカードの保持が必要である。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。(参考資料:日本エマルジョン工業会編「合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針」)
【15. 適用法令】	
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない(非危険物)
【16. その他の情報】	

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意してください。